

福島小だより

学校通信

めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子
令和3年10月1日 第7号



甘楽町立福島小学校
校長 中島 剛

○ゆっくりと秋が始まっています ～過ごしやすい季節がやってきました～

体育館南側の校門近くのキンモクセイから、秋の始まりを感じるいい香りがしています。9月下旬になっても真夏日があったり、朝夕の冷え込みがあったりと、寒暖の差が大きい日々が続きましたが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

群馬県は緊急事態宣言が解除されましたが、しばらくは引き続き感染対策をとりながらの学校生活となります。10月は運動発表会や旅行など、楽しみな行事がたくさんあるので、子どもたちの健康や安全を第一に、充実した学校生活を送らせたいと思います。

保護者の皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願いします。

○オリンピックで輝いた人たち ～裏方での活躍の素晴らしさを感じました～

9月の全校朝礼は、校長室と各教室をオンラインで結んで行いました。テーマは「オリンピックで輝いた人たち」で、東京五輪でボランティアとして活躍した人たちを写真や動画で紹介しました。

競技のスムーズな進行のための準備や片付け、競技の合間の消毒、マスクの着用やソーシャルディスタンスを保つ呼びかけなど、多くの場面で献身的に活躍するボランティアの「おもてなしの精神」について話しました。



○タブレットを用いた学習が進行中 ～きまりを守りつつ、学習のみに使用します～

9月からは家庭への持ち帰りも始まり、活用の幅が広がりました。植物の成長を写真で記録したり、ダンスを撮影して動きを確認したり、インタビューを録音したり、様々な学習場面で生かされています。また、クラス全員の子が入力した意見を教師機と結んでスクリーンに拡大し、子どもたちの意見交換に役立てたり、QRコードからアンケートに答えさせ、瞬時に子どもたちの意見を授業に反映させたりしています。今後、ますます学習の意欲や理解を高める道具として活用されていくと思います。



しかし、便利な機能ばかりではなく、危険性も伴っています。ネット上に友だちの悪口を書き込んだり、有害なサイトを見たりできしまいます。また、ネット上の交流から現実の事件に巻き込まれてしまうこともあります。これから子どもたちは、一生、タブレット等の端末を使いながら生きていきます。なので、今のうちから情報モラルを守らせてください。自分の身は自分で守ると同時に、自分がされて嫌なことは人には絶対にしないことを約束させてください。

○地域の方からの電話 ～地域の方が、子どもたちを見守ってくれています～

9月中旬頃、地域にお住まいの方からお電話をいただきました。笹森稲荷神社近くの横断歩道で、4～6年生くらいの男の子が道路を渡るので車を止めたら、渡り終わった後に、こちらを向いて頭を下げてくださいました。その行為にとっても感動しましたという内容のお電話でした。

私もこのお話を聞いて、とても感動し嬉しくなりました。